

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

近鉄グループホールディングス株式会社（証券コード：9041）

【据置】

長期発行体格付	B B B +
格付の見通し	安定的
債券格付	B B B +
発行登録債予備格付	B B B +

格付事由

- 関西圏を主たる事業基盤とする民鉄大手であり、近畿日本鉄道を中心とするグループ会社を傘下に有する純粋持株会社。運輸事業のほか、不動産事業や流通事業など幅広い事業を展開する。経営・資本・資金などの諸側面を勘案すれば、グループの一体性は強い。
- 比較的良好な雇用環境に加え観光旅客の取り込みが奏功し、鉄道輸送人員は引き続き堅調な推移が見込まれる。不動産賃貸事業では既存施設の稼働が安定して推移していることに加え、あべのハルカスのオフィス収入の寄与などにより、安定性が高い利益の獲得が進んでいる。百貨店では郊外店のテコ入れが求められるものの、売場見直し等が進んだ近鉄百貨店あべのハルカス本店の収益の安定性が高まってきたことは評価できよう。ホテル建替えや賃貸物件の取得などが計画されており、高水準の設備投資が続く見込みである。しかし、キャッシュフロー創出力の安定性が高まっていることなどにより、財務諸指標は当面現状程度の水準を維持可能と考えている。以上から格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 18/3期営業利益は600億円（前期比7.4%減）の見込み。運輸業における動力費や償却費の増加に加えてマンション分譲における利益率の低下などが織り込まれている。足元では百貨店の業績反転なども見られ、業績予想の達成確度は高まっていると考えられる。近鉄博多ビル建替えや賃貸物件の取得など、設備投資は850億円（前期455億円）と大幅な増加が計画されている。ただ、投資計画が保守的に積み上げられていることなどを考慮すれば、有利子負債残高の見通し（前期末比207億円増）については増加幅が抑制される可能性が高い。
- 19/3期を最終年度とする中期経営計画では、営業利益600億円、有利子負債/EBITDA倍率9倍程度などの定量目標が示されている。当面設備投資の水準は高止まりする計画であり、有利子負債が減りにくい状況が続くと見られる。しかし一定の財務規律を維持しつつ、必要投資を実施する方針が打ち出されていることから、当面投資規模は営業キャッシュフロー見合いとなる見込みである。

（担当）上村 暁生・加藤 直樹

格付対象

発行体：近鉄グループホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第78回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年1月25日	2018年1月25日	0.86%	BBB+
第83回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年6月13日	2019年6月13日	0.55%	BBB+
第84回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2014年7月18日	2018年7月20日	0.39%	BBB+
第86回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2014年10月24日	2019年10月18日	0.47%	BBB+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 90 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 2 月 26 日	2022 年 2 月 25 日	0.62%	BBB+
第 94 回無担保社債（近畿日本鉄道株式会社保証付および社債間限定同順位特約付）	150 億円	2015 年 12 月 18 日	2020 年 12 月 18 日	0.41%	BBB+
第 95 回無担保社債（近畿日本鉄道株式会社保証付および特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 12 月 11 日	2020 年 12 月 11 日	0.41%	BBB+
第 98 回無担保社債（近畿日本鉄道株式会社保証付および社債間限定同順位特約付）	200 億円	2016 年 4 月 28 日	2021 年 4 月 20 日	0.30%	BBB+
第 99 回無担保社債（近畿日本鉄道株式会社保証付および特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 9 月 2 日	2031 年 9 月 2 日	0.80%	BBB+
第 100 回無担保社債（近畿日本鉄道株式会社保証付および社債間限定同順位特約付）	200 億円	2017 年 8 月 4 日	2024 年 7 月 19 日	0.37%	BBB+
第 101 回無担保社債（近畿日本鉄道株式会社保証付および特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 7 月 27 日	2024 年 7 月 26 日	0.370%	BBB+
第 102 回無担保社債（近畿日本鉄道株式会社保証付および特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 7 月 27 日	2032 年 7 月 27 日	0.772%	BBB+

（注）上記社債には近畿日本鉄道株式会社による保証が付されている。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,500 億円	2017 年 7 月 7 日から 2 年間	BBB+

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年10月26日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「鉄道」（2011年7月13日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 近鉄グループホールディングス株式会社
近畿日本鉄道株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
・ 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル